

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.15

2025（令和7）年9月30日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

全国学力・学習状況調査の結果より②

○ 学習状況調査（児童質問紙）結果

6年生の子どもたちへ生活習慣や学習環境等に関するの質問紙調査も行われました。

【全国と比べて肯定回答の割合が高い質問：強み（○） 低い質問：弱み（▲）】（主なもの）

『生活や自分自身について』

- 毎日、朝食を食べている。 ○自分にはよいところがある。 ○将来の夢や目標をもっている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 ○人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。 ○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ▲学校へ行くのが楽しいと思う。

『学習について』

- 国語や理科の授業の内容はよくわかる。
- 国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 今回の国語、算数、理科の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習をすすめることができる、画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなるとらえている。
- 理科の授業では、観察や実験をよく行っている。問題に対して答えがどのようになるのか自分で予想（仮説）を考えている。観察や実験の結果からどのようなことがわかったのか考えている。観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。
- 読書が好き。
- ▲国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。
- ▲算数の勉強が好き。得意。

調査から、6年生の子どもたち一人ひとりが前向きに取り組んでいること、保護者の方々から子どもたちの基本的な生活習慣の定着に日々心を配ってくださっていることがわかりました。一方、「学校に行くのが楽しい。」という問いに対する肯定的回答が75%にとどまったことが、大きな課題です。学習面では、学習したことが将来社会に出たときに役に立つと考えている子が多い反面、「勉強が好きですか」の問いへの肯定的回答が少ないことも課題です。「勉強がよくわかる。」「学習活動が楽しい。」と思える授業づくりの取組をすすめます。

家庭学習についての質問から次のようなことがわかってきました。

質問	学校の授業時間以外に、 <u>普段（月曜日から金曜日）</u> 、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）					
	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
西柘植小	0.0	10.0	45.0	30.0	15.0	0.0
全国（公立）	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7

質問	土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）					
選択肢	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
西柘植小	5.0	0.0	15.0	30.0	45.0	5.0
全国（公立）	7.4	4.4	9.7	25.6	35.2	17.5

普段（月曜日から金曜日）、約半数の人が「6年×10分＝60分」の約束を守って学習を続けていますが、土曜日や日曜日などの学校の休みの日は少ないです。休みの日も学習を継続することの大切さについて指導を行い、それぞれにめあてをもって学習できるようにしていきます。

読書について

質問	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）					
選択肢	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	全くしない
西柘植小	5.0	20.0	30.0	35.0	0.0	5.0
全国（公立）	6.4	8.8	15.9	22.1	17.4	29.2

ほとんどの人が学校の読書時間以外に読書に取り組んでいることがわかります。今後、読書時間を増やしていただけるよう取組をすすめます。

○ 調査結果をふまえて

学力調査の結果をふまえて、学校では次のような取組を進めます。

- ・国語では、読む指導の際に、「何が書かれているのか」を読み取るだけでなく、「どのように書かれているのか（描写）」にも着目して指導を行い、自分の考えを明確に表せるよう表現力を養います。また、要旨を捉えて書く活動にも重点を置いて指導を行い、「〇字以内でまとめる。」「この言葉を入れて答えを書く。」といった条件に合った文章を書く機会を増やし、問われていることに適切に答えられるようにします。
- ・算数では、問題文をよく読み、何を問われているのかを捉えられるよう、個別に考える時間と集団で考え合う時間設定を行い、自分の考えを深められるようにします。条件に合った解答をする力をつけるため、式や言葉を用いて書くことや話し合うことを授業の中で繰り返し行います。
- ・理科では、物の性質について、学習したことと日常生活に見られる事象と結び付けて考えさせ、理解を深められるようにします。実験装置の操作技能が身に付くよう、実験や観察の実体験を大切にします。自分の考えを書く活動に重点を置き、書いて説明することに慣れるようにします。
- ・学級の中では、自分の思っていることや感じていることを話すことができるよう、自分の暮らしを綴る、交流し合うといったことも含め互いの考えや思いを伝え合うなかま作りの取組をさらに進めます。

お願い

学校では、この結果をもとに1年生から5年生についても、強みを伸ばし、弱みについては日々の学習の中で確かめ今後の授業改善に生かし、『よくわかると実感できる授業』をめざして取り組みます。しかし、学力の定着には家庭との連携が不可欠です。家庭学習の充実、家庭における読書もすすめていきます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。